



KITOKU SHINRYO

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

2013年12月期第2四半期

決算説明資料

 木徳神糧株式会社
2013年8月29日



KITOKU SHINRYO

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

2013年12月期第2四半期 連結業績の概況



増収・減益

単位：百万円

	当第2四半期 (2013年6月)	前年同期 (2012年6月)	前同期比
売上高	57,526	52,172	110.3%
売上総利益	3,185	3,494	91.2%
売上比	5.5%	6.7%	
販売管理費	2,954	3,037	97.3%
売上比	5.1%	5.8%	
営業利益	230	457	50.3%
売上比	0.4%	0.9%	
経常利益	229	492	46.5%
売上比	0.4%	0.9%	
特別損益	16	30	53.3%
売上比	0.0%	0.1%	
第2四半期純利益	156	472	33.1%
売上比	0.3%	0.9%	



決算ハイライト (B/S)

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

単位：百万円

	当第2四半期末 (2013年6月末)	前期末 (2012年12月末)	増減額
総資産	27,321	29,554	▲2,233
純資産	6,853	6,696	+157
自己資本比率	23.7%	21.4%	+2.3%
1株当たり 純資産 (円)	763.38	744.27	+19.11

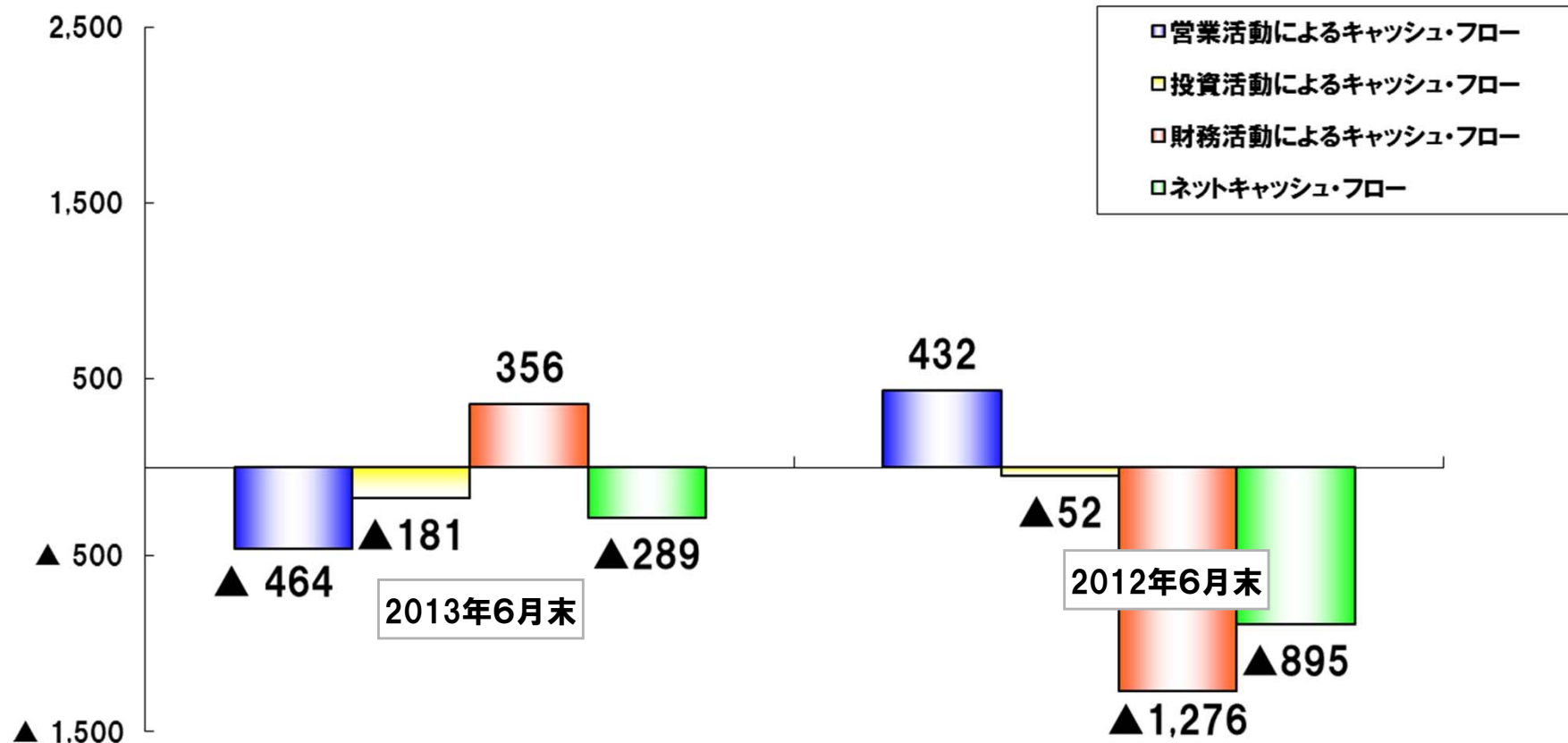


決算ハイライト (C/F)

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

単位：百万円

	当第2四半期末 (2013年6月末)	前年同期 (2012年6月末)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲464	432	▲896
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲181	▲52	▲129
財務活動によるキャッシュ・フロー	356	▲1,276	1,632



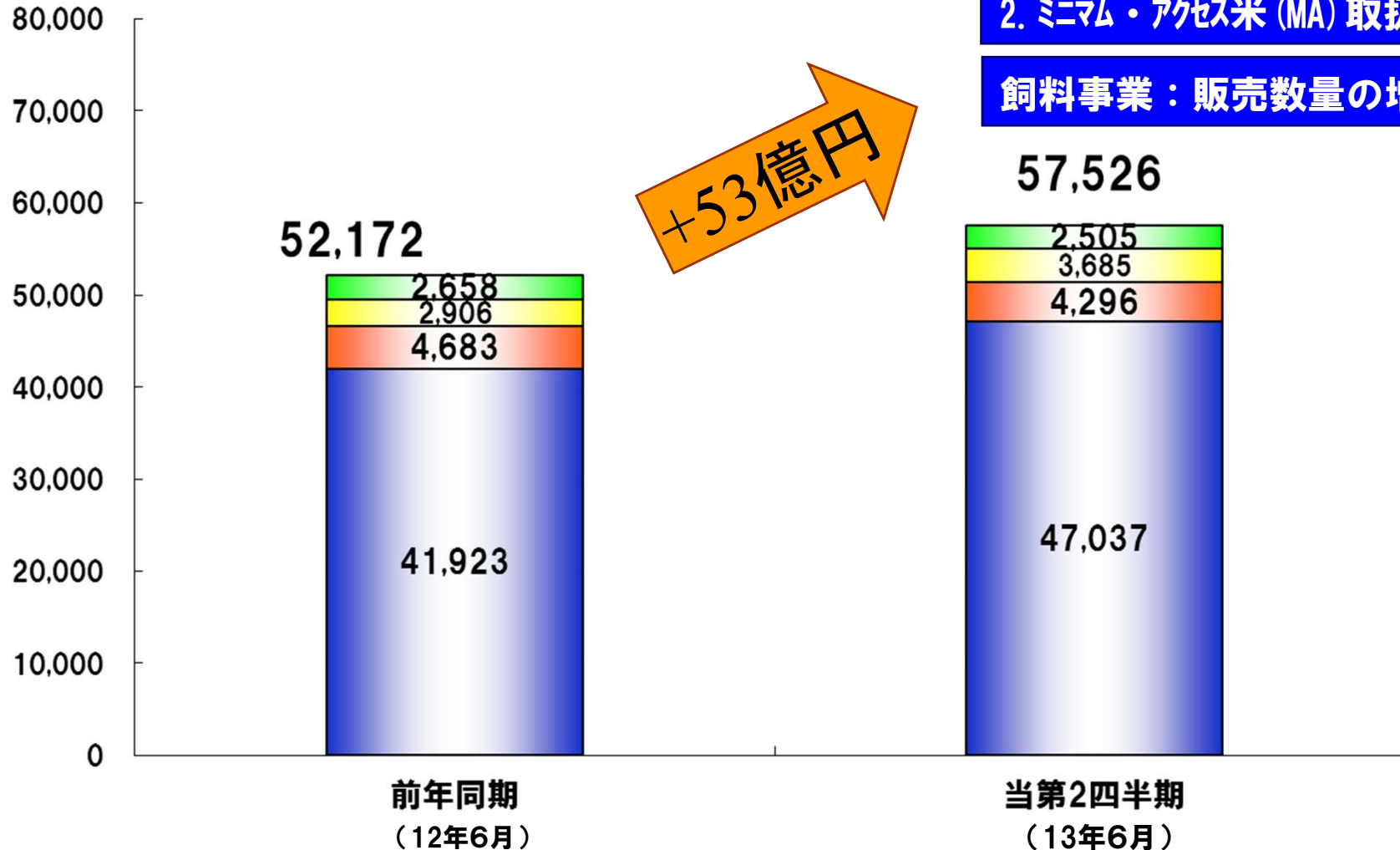


売上高（セグメント別）

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

単位：百万円

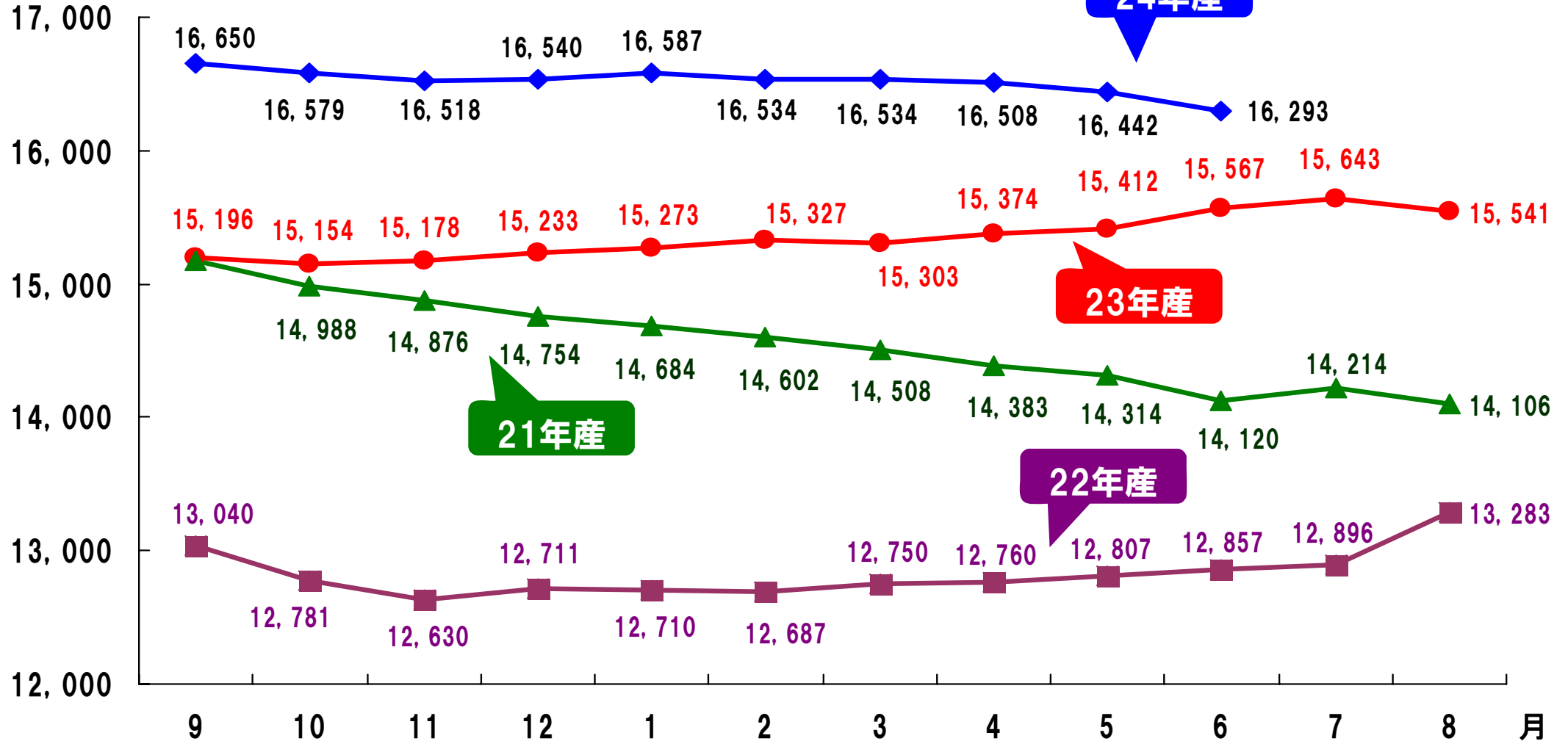
□米穀事業 □食品事業 □飼料事業 □鶏卵事業



米穀事業：
 1. 国内産米単価の上昇
 2. ミナム・アクセス米 (MA) 取扱量の増加

飼料事業：販売数量の増加

単位：円/60キ口



注：1. 価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

2. 相対取引価格は全銘柄平均価格であり、産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。



販売数量（米穀事業）

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

単位：千トン

■ 精米(国産)

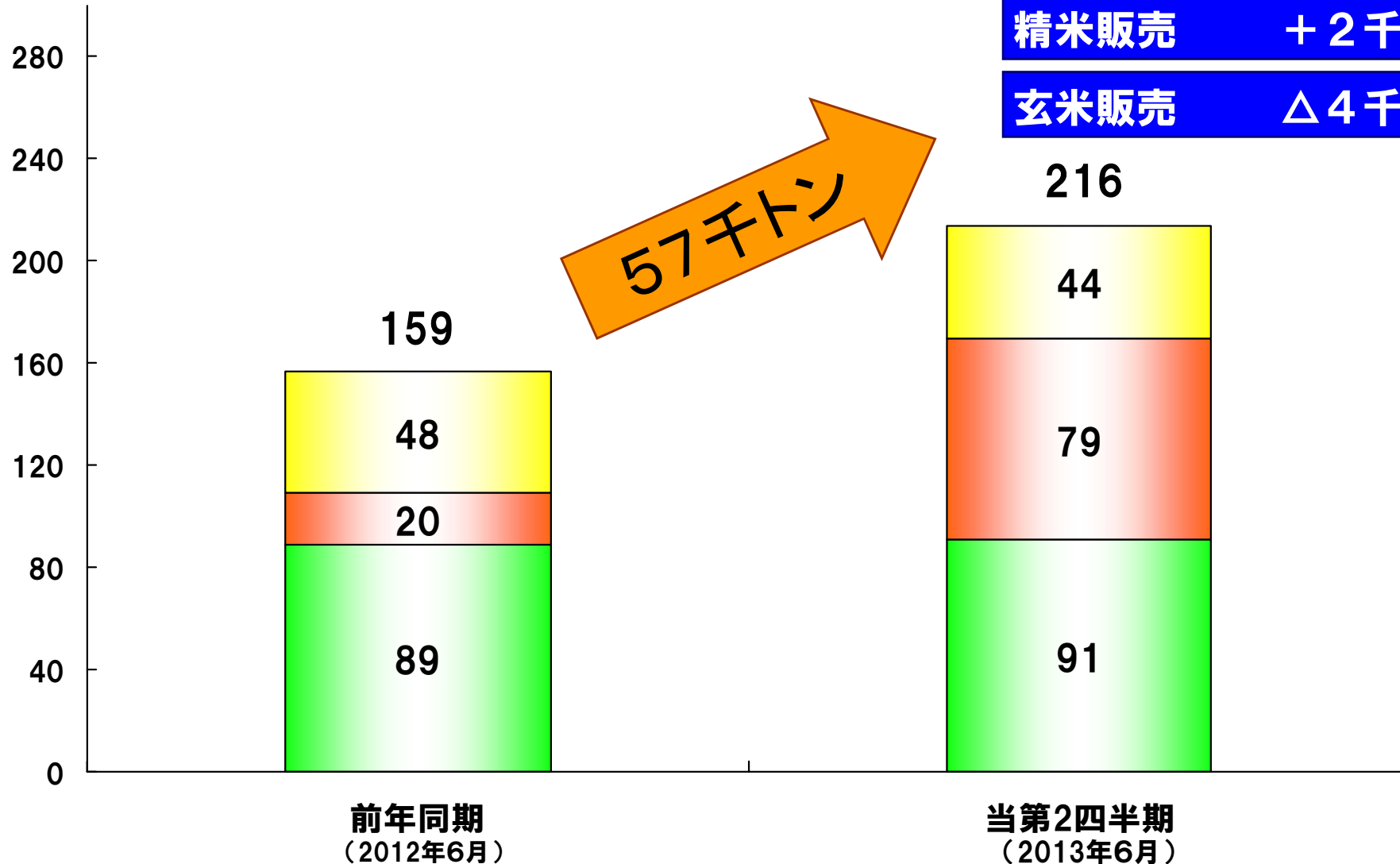
■ 精米(外国産)

■ 玄米(国産)

ミニム・アクセス米 +59千トン

精米販売 +2千トン

玄米販売 △4千トン





販売費及び一般管理費（セグメント別）

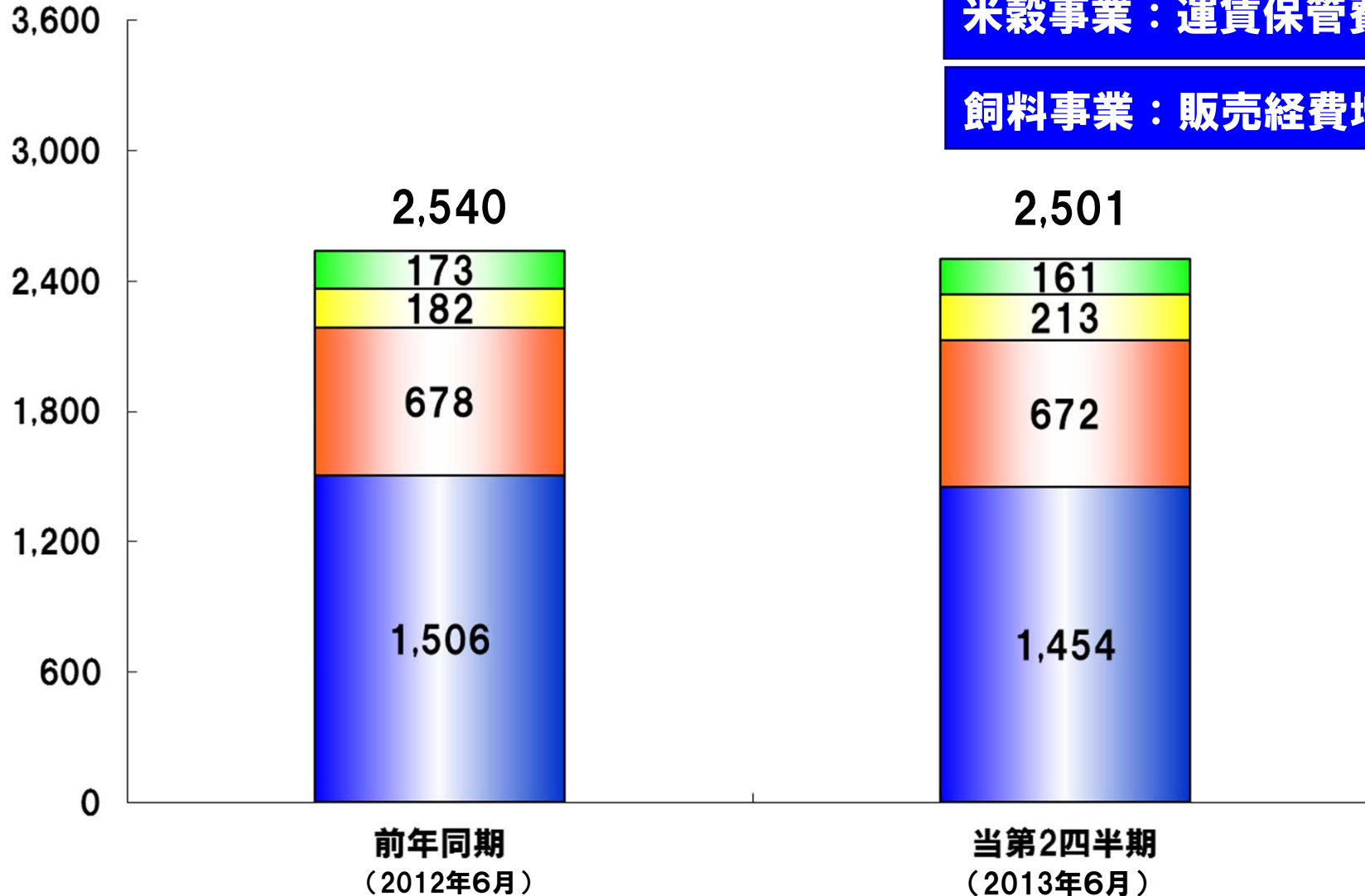
木徳神糧株式会社
証券コード：2700

単位：百万円

■米穀事業 ■食品事業 ■飼料事業 ■鶏卵事業

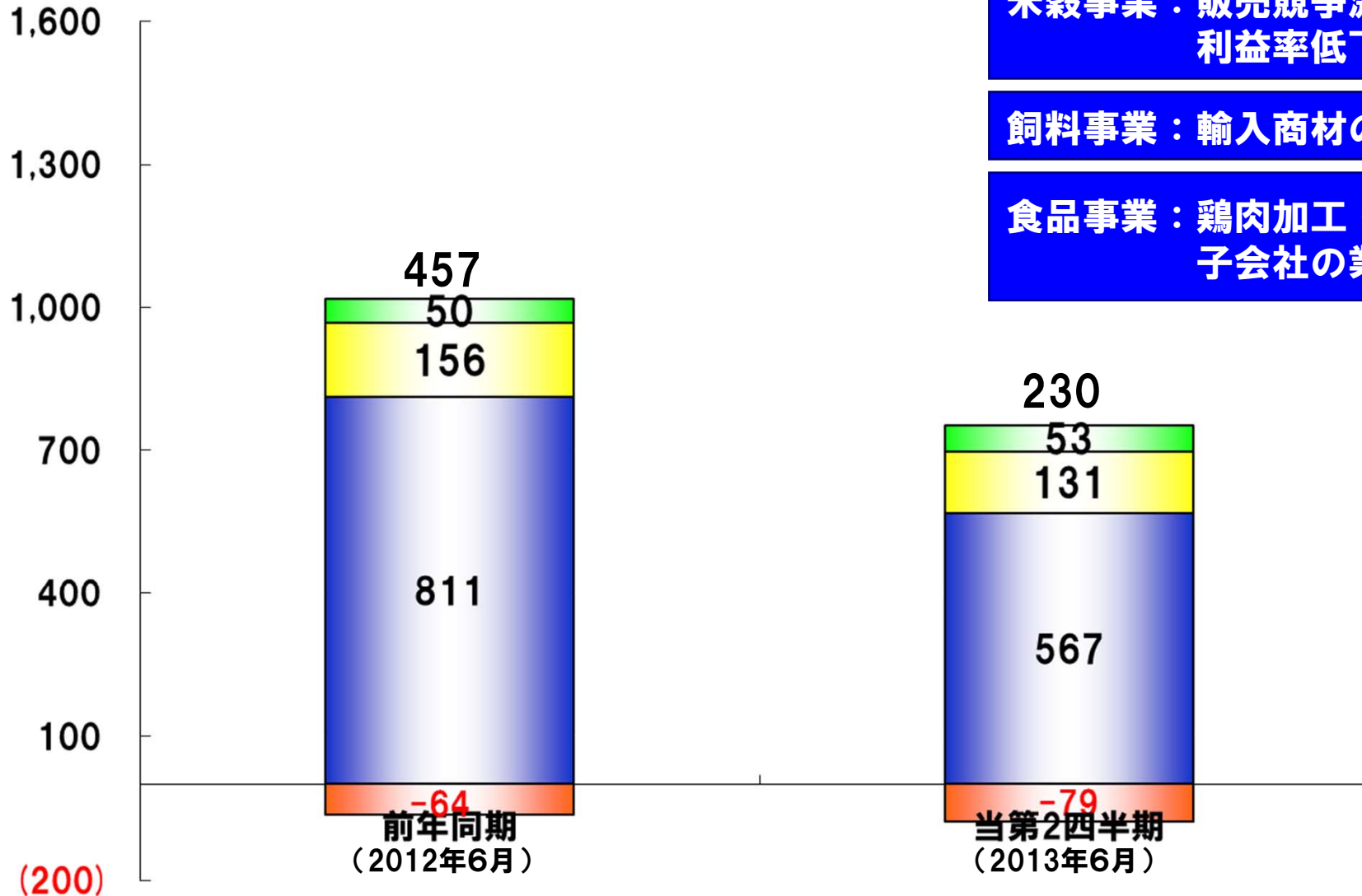
米穀事業：運賃保管費用減少

飼料事業：販売経費増加



単位：百万円

□米穀事業 □食品事業 □飼料事業 □鶏卵事業



米穀事業：販売競争激化による利益率低下

飼料事業：輸入商材の利幅縮小

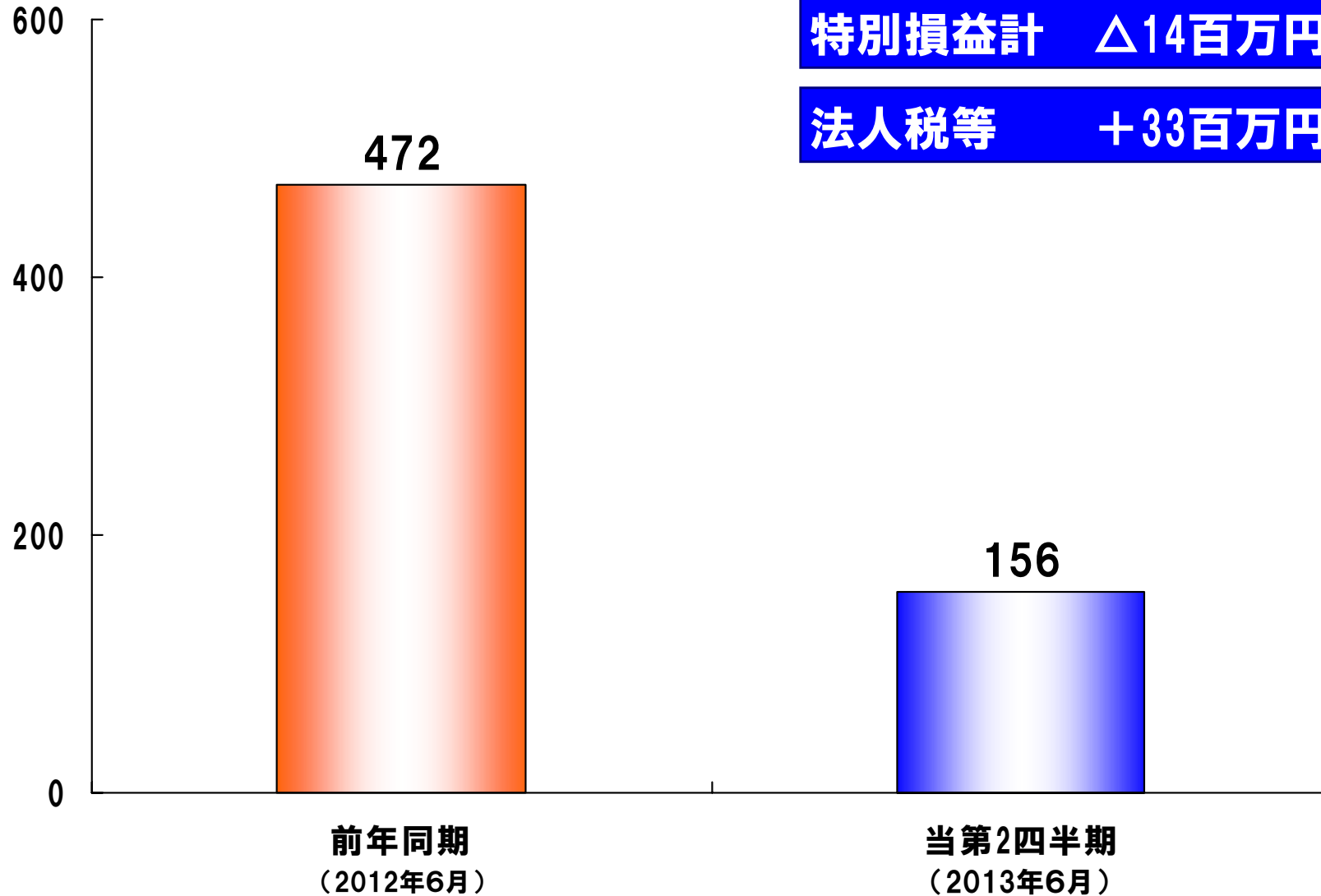
食品事業：鶏肉加工・販売子会社の業績低迷



第2四半期純利益

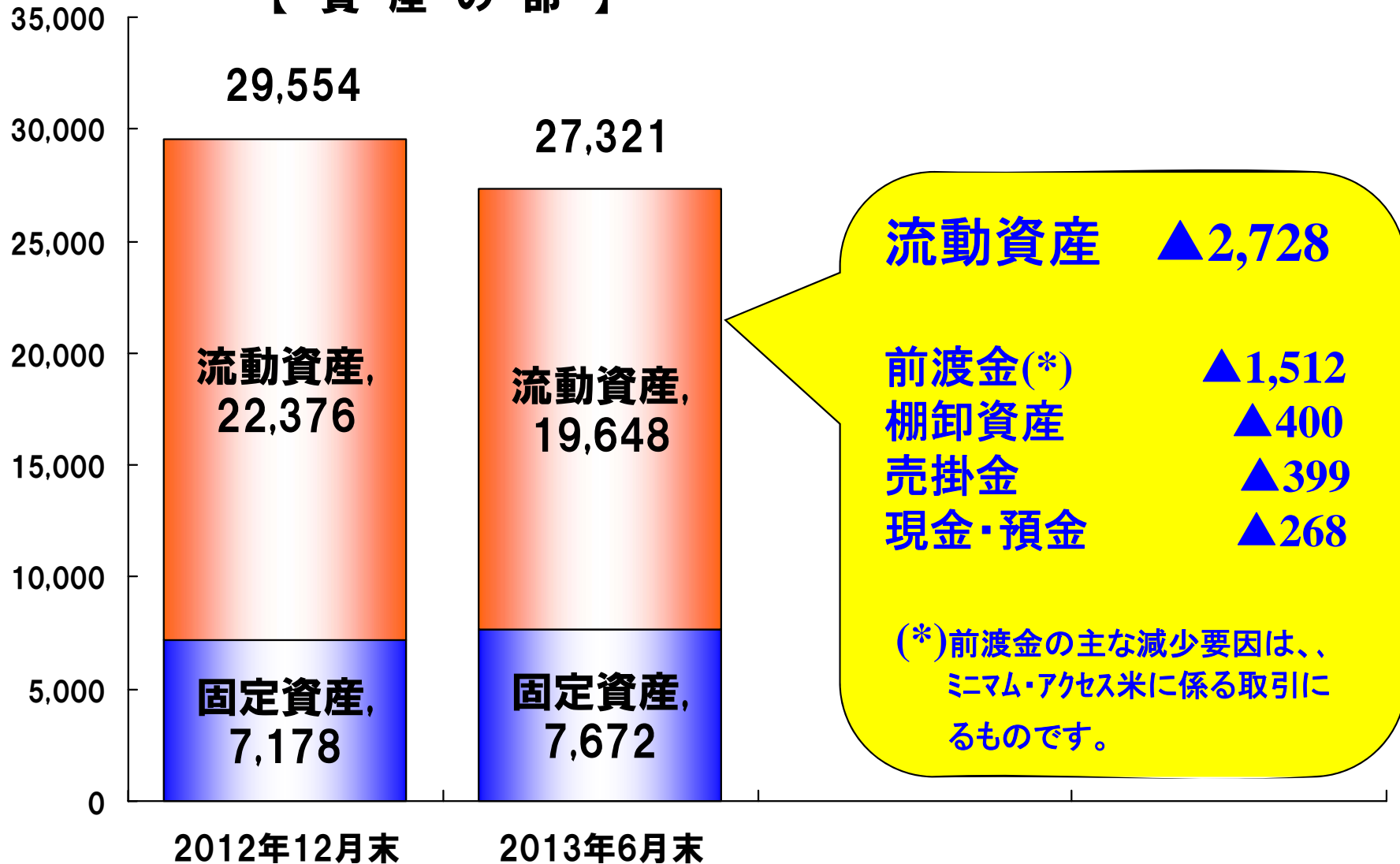
木徳神糧株式会社
証券コード：2700

単位：百万円

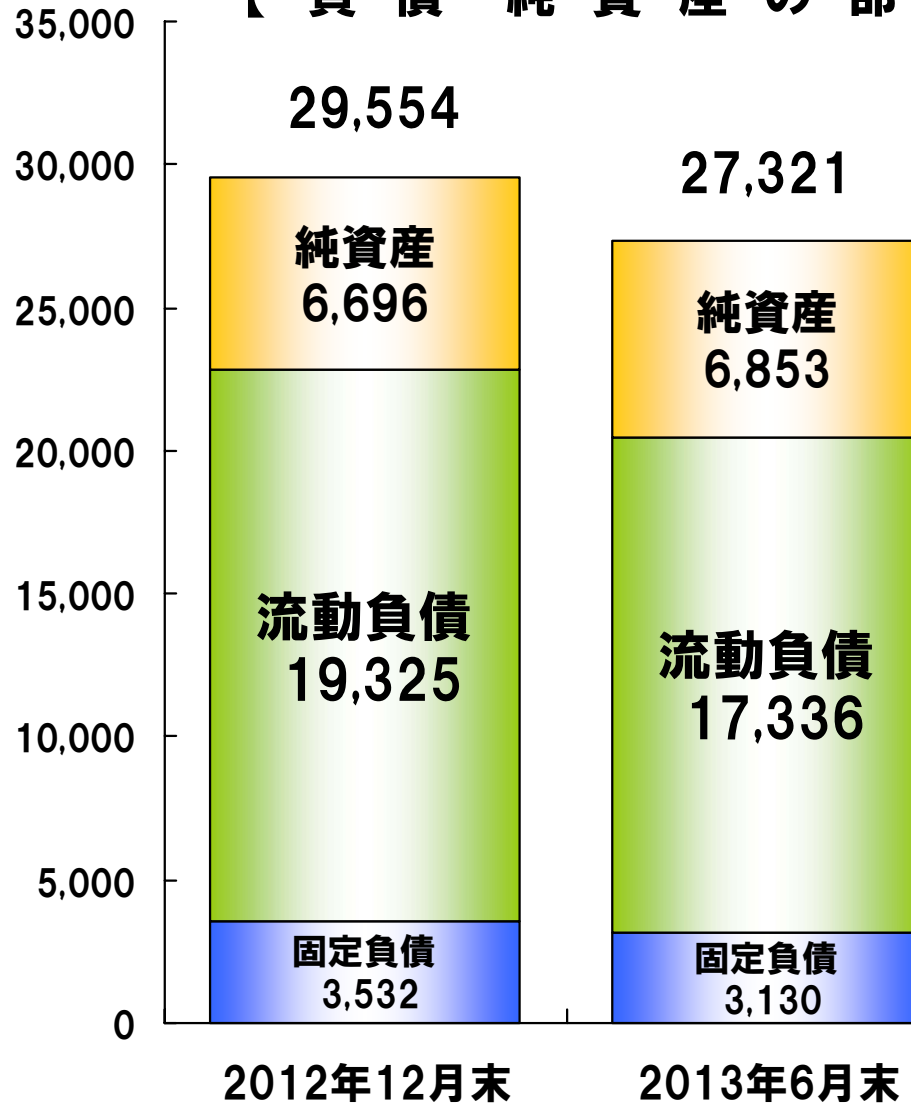


単位：百万円

【 資 産 の 部 】



単位：百万円 【負債・純資産の部】



流動負債 ▲1,989

買掛金(*1) ▲2,335

前受金(*2) ▲774

未払法人税等 ▲112

短期借入金等 +1,039

(*1)買掛金の主な減少要因は、季節的要因が大きい

(*2)前受金の主な減少要因は、ミニマム・アクセス米に係る取引によるものです。

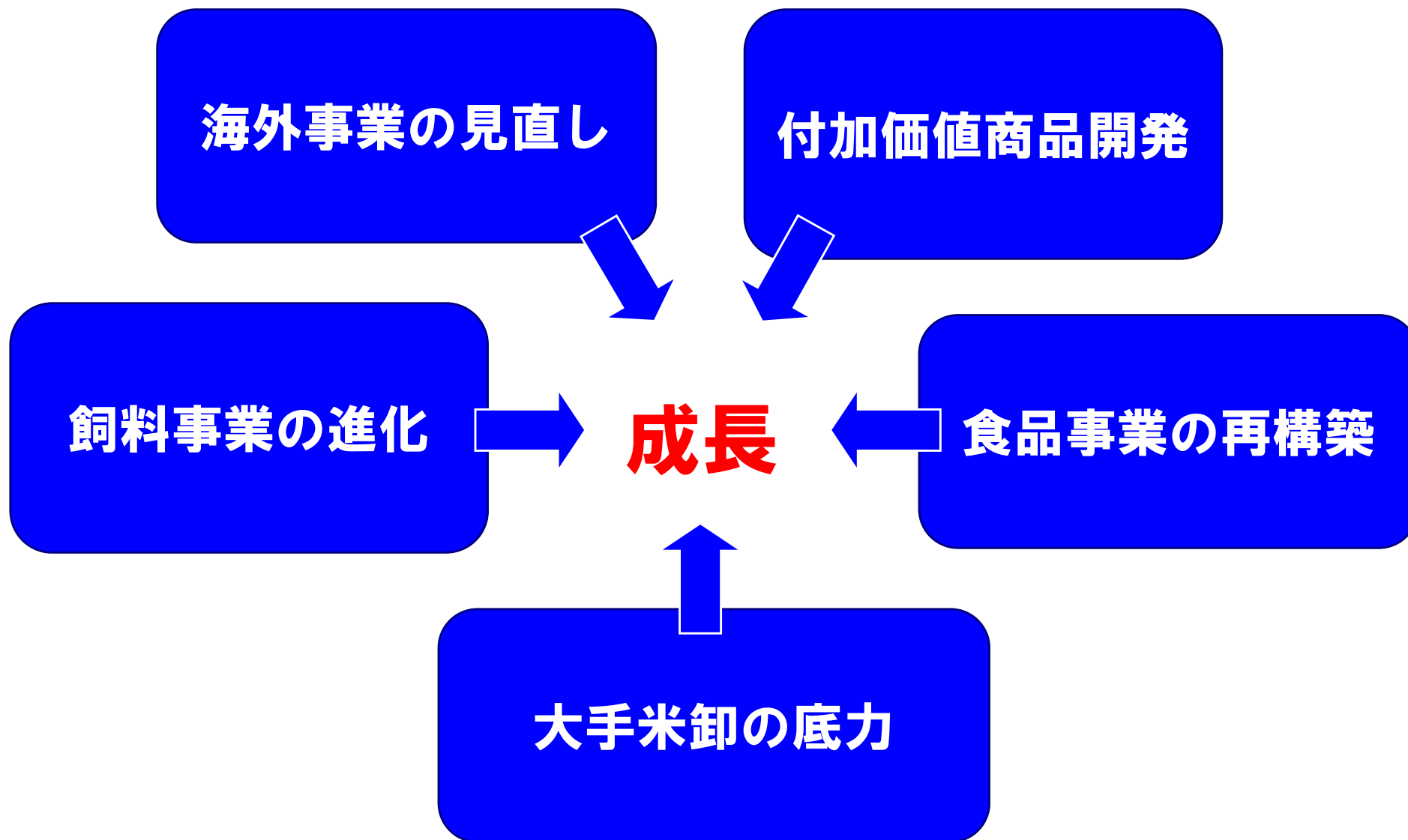
長期借入金 ▲536



KITOKU SHINRYO

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

経営戦略





◇事業規模の拡大

- ・ 販売数量の拡大
既存取引におけるNO. 1シェアを獲得
- ・ 販売地域の拡大
関西、中四国、九州を重点地域に

◇仕入力の強化

- ・ 仕入ルート of 複線化
生産者、農業法人、農協から直仕入れの取り組みを強化
- ・ 契約手法の見直し
複数年契約の拡大
- ・ 仕入体制の充実
各地域における地元玉仕入の強化



◇営業提案力の向上

- ・取引先とPB商品開発の強化
コンビニ店頭精米販売の支援
2月九州地区にTVCMを投入、10月関西地区に展開
- ・新規開拓の強化
本社・各支店と共に積極的に推進
大手ユーザー、ホームセンター、ディスカウントストアに焦点

◇生産拠点の選択と集中

- ・桶川工場新精米ラインのフル稼働
大型投資計画を撤回、製造の効率化とコストダウンを追求
- ・岡山工場精米ラインの増設、関西地域製販拡大への対応
- ・各工場(委託先含)の品質管理のレベルアップを推進



国内の主な製販拠点（参考）

木徳神糧株式会社

関西支店



新潟製粉工場(米粉)



東北支店



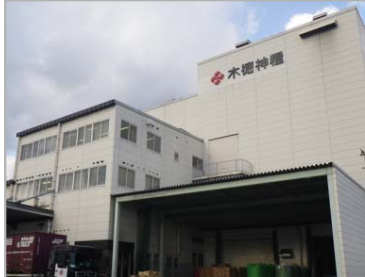
中四国支店・岡山工場



桶川工場



九州支店・福岡工場



滋賀工場



東海支店・静岡工場



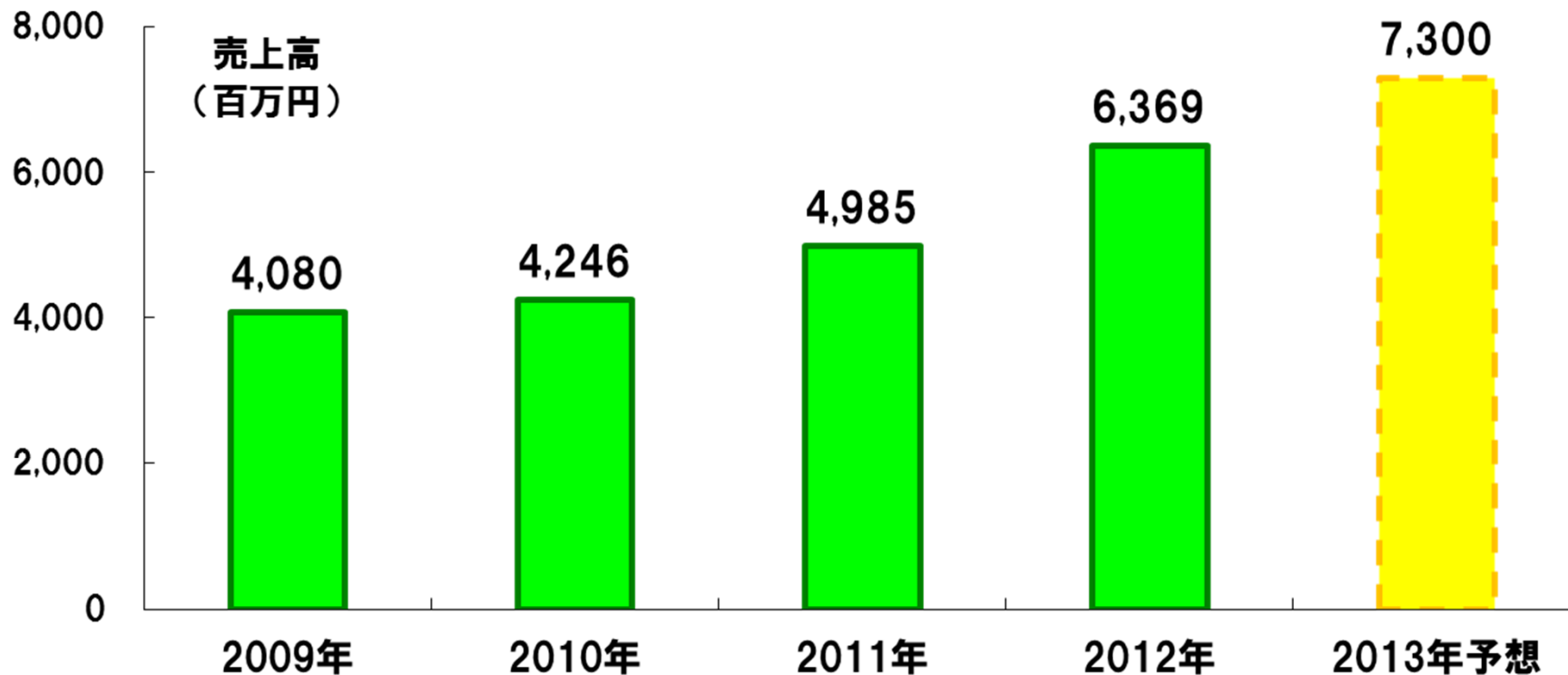
本牧工場



本社

◇事業規模の拡大

- ・ 全国展開へ
北海道・九州・関西等の取組みを強化し全国販売を促進
- ・ 取扱い飼料の拡充
事業領域の拡大を目指し国内飼料・輸入飼料の取扱を強化





◇安全・安心な供給体制づくり

- ・ 環境や需給変化を先取りできる供給体制を構築
- ・ 品質検査体制や情報伝達にグループの力を活用

◇販売ルートが多様化

- ・ 配合飼料メーカー向け販売シェアの拡大
- ・ 飼料販売店への深耕開拓の強化（輸入乾牧草等）
- ・ きのこと培地向けの飼料原料販売の強化

◇輸入飼料の仕入ルートの拡充

- ・ 専門性を生かして差別化できる原料の開拓
- ・ グループの海外拠点との連携強化

◇循環型社会形成への取組み

- ・ 食品加工工程で発生する副産物を飼料・肥料等に活用



◇ベトナム事業の改革

- ・生産設備の拡充
約2億円で日本式乾燥施設を新たに取得
集荷量の大幅増加、品質向上、歩留まり改善を推進
- ・ベトナム国内営業の強化
ホーチミン駐在所を支店に昇格
日本産米、アメリカ産米、タイ香り米の輸入販売
- ・ホーチミン市に再精選工場建設の検討
国内各地、各国の精米を集約し再精選へ
5年後に取扱数量の倍増を目指す

◇海外市場の販売拡大

- ・ベトナム産長粒種米をアフリカや中国向けに拡販
- ・ミャンマーにおけるジャポニカ米の試験栽培を継続

◇たんぱく質調整米の開発

- CKD（慢性腎臓病）患者向け新商品「真粒米」を販売
酵素技術活用で自社プラントを構築し製造・販売を推進
品質向上やコストダウンで付加価値向上と共に社会貢献
海外市場を見据えたマーケティング活動を展開

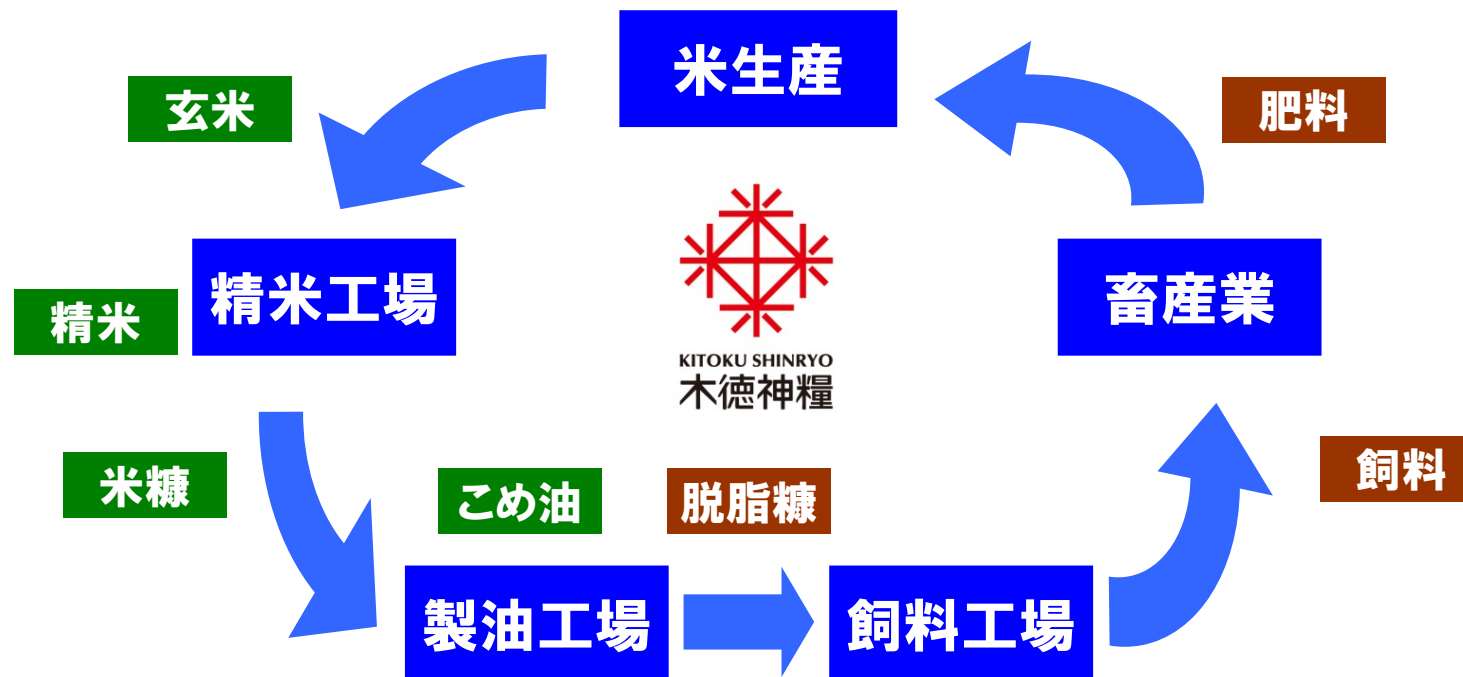
項目	炊飯前	炊飯後
たんぱく質(g)	0.2	0.1
脂質(g)	1.1	0.6
炭水化物(g)	87.9	49.2
エネルギー(Kcal)	362	203
ナトリウム(mg)	1.6	2.3
カリウム(mg)	0	0
リン(mg)	41	22.5

注：真粒米150gに加水165ccのケース
（日本食品分析センター調べ）



◇循環型ビジネスの推進

- ・ 精米加工で発生する国産米の糠を活用、安全・安心なNon-GMO植物油「こめ油」を拡販
- ・ 副産物の脱脂糠を再利用、飼料原料として販売 食料自給率向上の一助に



注:Non-GMOとは、非遺伝子組み換え作物(Non-Genetically Modified Organism)。



◇鶏肉事業(内外食品株式会社)の見直し

- **付加価値商品の開発**
真壁工場に熱加工設備を新規導入(6月設置完了)
蒸し鶏、ローストチキン、肉団子等の加工品を拡販
- **新規販売ルートの開拓**
スーパー、コンビニ向けの商品提案を強化
- **食品グループの連携**
販売先情報の共有化、商品開発の連動を推進
- **コストダウンの徹底**
販管費の削減や配合飼料価格等原価の低減を強化



KITOKU SHINRYO

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

2013年12月期連結業績予想



2013年12月期第2四半期連結業績予想との差異

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

単位：百万円

項目	13年12月期 第2四半期実績	13年12月期 第2四半期予想	予想との増減額	予想との増減率
売上高	57,526	62,300	△4,774	△7.7%
営業利益	230	390	△160	△41.0%
経常利益	229	360	△131	△36.4%
当期純利益	156	220	△64	△29.1%

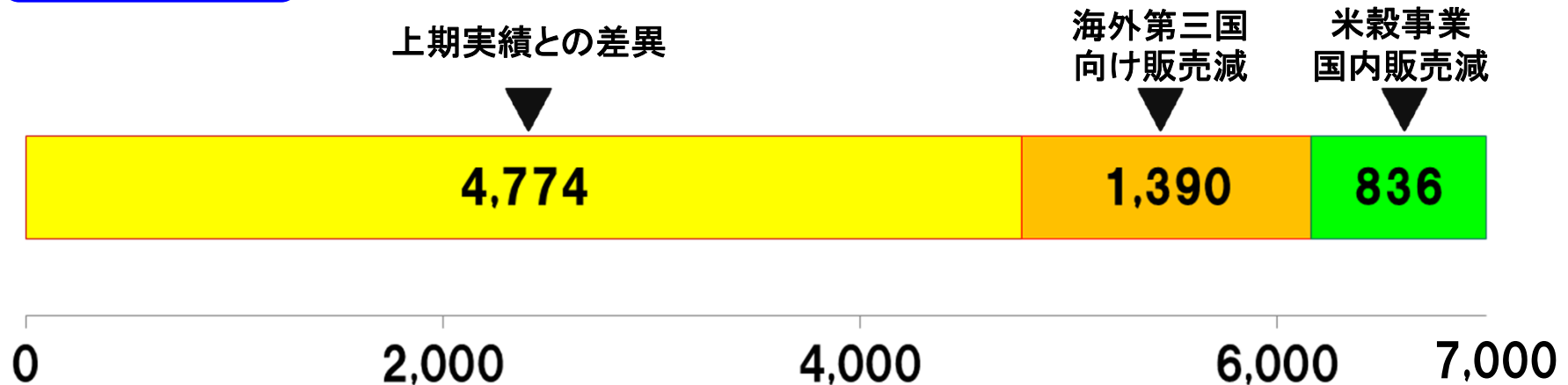
計画対比の主要増減要因

売上高 △4,774百万円
 米穀事業 △5,362百万円 食品事業 △203百万円 飼料事業 +785百万円

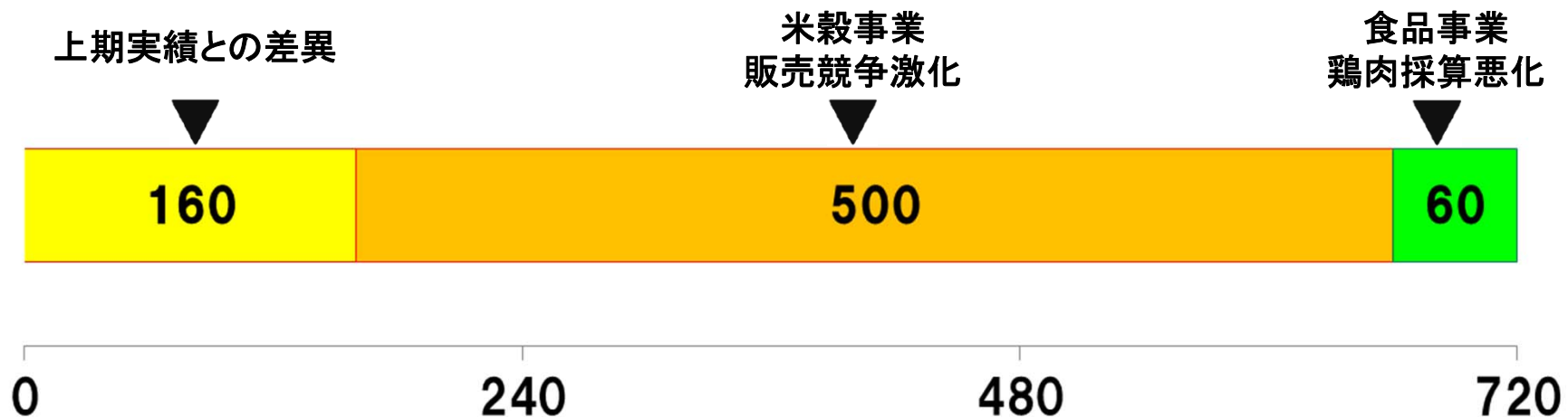
営業利益 △160百万円
 食品事業 △148百万円 米穀事業 △100百万円 飼料事業 △20百万円

減収要因

単位：百万円



営業利益減益要因





2013年12月期通期連結業績予想（修正後）

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

単位：百万円

項目	12年12月期実績	13年12月期 当初予想	13年12月期 修正予想	通期予想の 修正額	通期予想の 修正率
売上高	109,218	124,000	117,000	△7,000	△5.6%
営業利益	763	820	100	△720	△87.8%
経常利益	786	750	60	△690	△92.0%
当期純利益	638	450	10	△440	△97.8%



本資料は、会社情報、経営計画、連結業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と異なる可能性があります。

本資料は、2013年8月9日現在のデータに基づき作成しております。

【お問い合わせ先】

木徳神糧株式会社 社長室 IR担当

TEL：03-5636-1502 Email:ir@kitoku-shinryo.co.jp

URL <http://www.kitoku-shinryo.co.jp>